

モータに関するお困り事はありませんか？

"製品の低消費電力化や低コスト化を実現するうえで、モータ設計は重要な要素の一つです。近年は 自社でのモータ内製化を検討する企業も増えてきています。

そんな中、モータ製品に多く使われているレアアースは、中国の輸出規制の対象になっており、製品開発・調達において深刻な問題になっています。

本ウェビナでは、モータ市場動向から、高効率・低消費電力化・低コスト化に向けたモータ技術の最新トレンド、加えて、中国のレアアース問題などの業界課題に対する対応策についてご紹介しました。

モータ市場動向と成長予測

モータ市場はEV（電気自動車）の急速な普及、製造業の自動化（FA/ロボット）、エネルギー効率向上の需要を背景に成長を続けており今後も堅調に拡大していくことが予測されています。

特に今後のトピックスとしてヒューマノイドロボット市場が世界的に注目されており、その関節などには多くのモータが必要となる為、2040年までには多用途ロボットの市場規模は約60兆円規模となる見込みです。

モータ技術の最新トレンド

今回は巻線技術、可変磁束モータ、アモルファスコアの多く分けて3点についてご説明しております。

巻線技術はコイルの占積率向上や軽量化に寄与し、可変磁束モータはバッテリーの電力消費の改善に貢献、アモルファスコアはモータ効率の大幅改善および小型、高速化を実現可能とします。

今回ご紹介させて頂いた技術の他にもモータに関する研究を行っている大学様や企業様と連携して、最新技術を取り扱ってまいります。

モータ業界の課題

ニュースなどでも大きく報じられております中国のレアアース問題について、現状をご説明しております。

今現在、モータメーカー様に共通するお困り事として磁石が全く手に入らない状況が続いております。

その打ち手を今回のウェビナではご説明しております。

今後、状況の変化に応じて、柔軟な対応が必要になってきますが、全力で当社もお客様をサポートさせていただきます。何かお困り事があれば、お気軽にご相談下さい。

■ 本日の登壇者 ■



INTERGROW
代表取締役
菊地 祐介 氏



モータ技術開発：巻線
出所：投影資料より一部抜粋

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアによりそうマガジンサイト